

平取町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

概要

- ・平取町はバス路線から離れた箇所に集落、人家が点在しており、バス利用困難な高齢者等が存在している。
- ・また、路線バスの乗車率が低く、平取町が民間バス事業者の赤字分を補填し、町民の足を確保している状況にある。
- ・このような状況の中、効率的で利便性の高い公共交通の確立を目指し、「平取町地域公共交通総合連携計画」を平成21年度に策定した。
- ・策定した計画に基づき、デマンド型交通(フィーダー系統)の本格運行を平成24年度から開始したところである。

平取町生活交通ネットワーク計画の目標・効果

【目標1: 高齢者等の移動手段の確保】

指標	地区	現状※	目標
高齢者等のデマンド型交通の利用者数(人/日)	本町・荷葉地区	2.5 人/日	3.0 人/日
	振内地区	1.4 人/日	1.7 人/日

※現状はH23年度 利用実績

【目標2: 地域活性化の推進】

⇒地域活性化ツールのひとつとしてデマンド型交通を運用

平成25年度事業概要

本町・荷葉地区

対象者 : 路線バスのバス停から遠い地区に住む荷葉地区及び本町みどりが丘地区の住民
運行方法 : 1日10便設定(5.2km)、デマンド運行方式、1回100円

振内地区

対象者 : 路線バス停から遠い地区に住む山手地区、池売地区などの住民
運行方法 : 1日6便設定(5.8km)、デマンド運行方式、1回100円

地域公共交通の現況

- ・道南バス(株)
⇒日高縦貫線、日高沿岸線
- ・町営バス(自家用有償旅客運送)
- ・小中学生の通学用スクールバス
- ・タクシー2社

平取町地域公共交通活性化協議会開催状況

- ・平成24年6月22日 平成24年度 第1回協議会を開催
⇒生活交通ネットワーク計画について 等
- ・平成24年10月19日 平成24年度 第2回協議会を開催
⇒デマンド型交通の中間報告 等
- ・平成25年3月22日 平成24年度 第3回協議会を開催
⇒デマンド型交通の結果報告 等

5) 事業実施の適切性

- ・計画どおり事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

【目標1：高齢者等の移動手段の確保】

- ・本町・荷菜地区：2.8人/日（目標3.0人/日、H23：2.5人/日）
- ・振内地区：1.4人/日（目標1.7人/日、H23：1.4人/日）

⇒本町・荷菜地区は昨年実績よりも増加したが、目標には未到達であった。（住民から運行ダイヤ等の見直し要望あり）

⇒振内地区は昨年実績と同程度であったが、目標には未到達であった。（住民から運行ルート等の見直し要望あり）

【目標2：地域活性化の推進】

⇒デマンド型交通の複数回利用者に地域特産品を贈呈する取組みを実施

7) 事業の今後の改善点

- ・これまでの冬期間限定での運行に加え、H25年度からは夏期でも運行を実施
- ・利用者からデマンド型交通の運行ルート、ダイヤの変更に関する要望があるため、それら内容を見直し、乗車率の向上を目指す
- ・対象地区の住民への周知・徹底を継続的に実施
- ・地域活性化事業やバス結節点における地域振興促進事業を積極的に取り入れて交流機会の創出に努め、デマンド型交通を地域の活性化のツールとして役立てる

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

自己評価の通り適切に事業が実施されている。

今期の利用者数1日平均は、平成23年の実証運行時を上回っているものの、残念ながら目標を達成できていない。夏季運行の実施や利用者への地域産品の贈呈など、一定の住民ニーズは踏まえられているが、その原因が運行ダイヤと運行ルートにあるとわかっているのであれば、利便性の向上による利用者増加につながるため、利用者ニーズを精査の上、早急にそれらを変更することを期待する。